# 2. 今後の里地里山保全活用の施策について

# 2-1. これまでの成果

平成16	<b>里地里山保全再生モデル事業</b> (全国4地域)を実施(平成19年度まで)
平成19~	技術研修(里なび研修会)を毎年度開催
平成20	里なびホームページ開設(活動団体登録、専門家登録の開始)
平成20	モデル事業を踏まえ「 <u>里地里山保全再生計画策定の手引き</u> 」発行
平成20~	ホームページにより保全活動・活動場所、専門家などの登録・紹介を実施
平成21	アンケートにより、全国 <u>約600<b>件の活動事例を把握</b></u>
平成21	上記アンケート結果から <u>特徴的な取組60事例をインターネットで紹介</u>
平成22	平成20年度から収集・整理した海外事例を合わせ、自然資源の持続可能な利用・ 管理に関する手法例集(日・英)をインターネットにより提供
平成22年9月	「里地里山保全活用行動計画」の策定
平成22年10月	COP10においてSATOYAMAイニシアティブを提案、国際パートナーシップを設立、里地里山保全活用行動計画(英語版)を作成、配付

# 2-2.今後の里地里山保全活用の施策

里地里山保全活用行動計画の策定を受け、今後はこの計画を推進する観点から、里地里山保全活用の展開を図るための具体的な取組を推進する。

- ・事例紹介冊子(ガイドブック)の作成
- ・保全活用事例等のデータベースの整備
- 平成22年度事業
- ・里地里山の自然資源の新たな利活用方策の検討
- ・多様な主体の参加促進方策の検討
- ・地域の典型的里地里山の保全活用の推進

# 2-2.今後の里地里山保全活用の施策

### SATOYAMAイニシアティブ推進事業 (平成20~22年度)

国内外の調査

未来に引き継ぎたい里地里山の調査 世界における事例調査 自然資源の管理・利活用方策の検討

#### 国内における取組支援

未来に引き継ぎたい里地里山への支援 多様な主体の参加促進 全国里地里山行動計画の策定

共通原則・指針の検討



### 里地里山保全活用行動推進事業(平成23年度~)

全国の活動に対する技術支援、参加促進のための情報提供

これまでに収集・整理した技術的方策、モデル事例集の充実、国内発信

多様な主体の参加促進方策 新たな共同利用のあり方に関する調査検討

自然資源の利活用方策 野生生物に着目した地域づくりの検討及び試行

典型的な里地里山の選定及びネットワークに関する考え方、手法の検討 保全活用の推進効果を検証するための指標、手法の検討



国内各地域による自律的な里地里山の保全再生・地域振興の促進

国際SATOYAMAイニシアティブ 構想の推進(国連大学と共同) (平成21年度~)

連携して

第生

10物

12 回締約国会議物多様性条約

情報

共有

案

提

SATOYAMAイニシアティブの 国際展開検討

SATOYAMAイニシアティブ 国際パートナーシップの発足

## 国際バートナーシップの運営

SATOYAMAイニシアティブ 国際パートナーシップ の運営(国際的展開のための行動計画の策定等)

### 各国での事例の収集及び分析

- ・世界各国の事例の収集・分析
- ・各国の特徴に照らし合わせた自然資源管 理手法の適用可能性の実証調査
- ・地域毎での手法の普及及び研修の実施促進

# 持続可能な自然資源の利用に ついての情報発信

- ・世界の自然資源の管理についての事例等 の情報を一元的に蓄積及び発信するポー タルサイトの運営・充実
- ・PR資料の開発・提供

世界での自然共生社会の構築

# 2-3.事例紹介冊子(ガイドブック)の作成

### 【検討内容】

- ・「里地里山保全・活用検討会議」で特徴的な取組としてとりまとめられた事例を紹介する冊子を作成する。
- ・冊子には、事例集を活用するため、適確な事例を検索できるよう工夫し、できるだけビジュアルで分かりやすい表現とする。

# 【構成案】

- 1.里地里山の保全活用における現状と課題
- ・保全活用に関わる取組の現状を紹介
- ・保全活用に向けた6つの課題を解説
- ・ガイドブックの構成・使い方を説明
- 2.全国の特徴的な取組の分布と検索シート
  - ・全国の事例の分布状況
  - (全国地図に位置プロットと名称・アイコン表示)
  - ・約120の取組事例の検索シート (別紙参照)

(課題検索シート/取組主体検索シート/地方区分検索シート/環境タイプ検索シート)

### 3.特徴的な取組事例 (別紙参照)

- ・120の特徴的な取組事例を取り上げる
- ·1事例1/2ページ程度で解説 (写真·取組の概要紹介)
- 4. ホームページ「里なび」の紹介
  - ・ホームページ「里なび」の掲載情報と利用方法
  - ・事例・手法データベースの紹介と検索方法の解説
  - ・活動団体/取組事例の追加登録と方法の解説

# 2-4.保全活用事例等のデータベースの整備

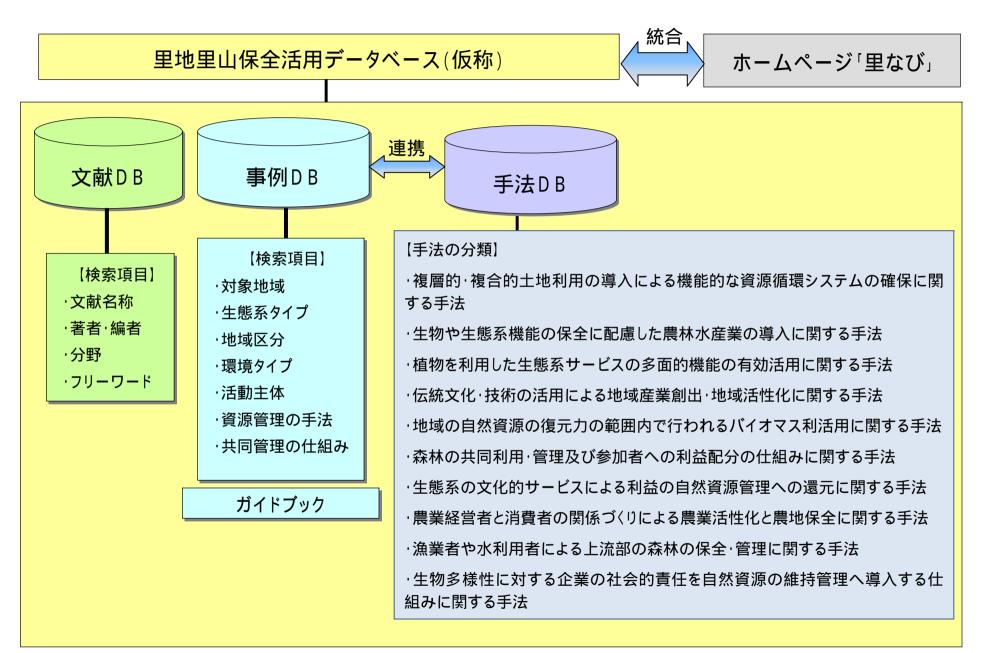
## 【検討内容】

・過去に収集した国内外における自然資源の保全活用に関する事例や手法に関する情報を体系的に整理する。

里地里山保全再生の取組の事例	46件
里地里山保全・再生に向けた特徴的取組アンケート	599件
- 平成20年度SATOYAMAイニシアティブ推進検討	37件
平成21年度持続的な自然資源管理に係る事例調査	56件
平成21年度里地里山自然資源管理モデル検討調査	15件
「里なび研修会」でとりまとめた技術的方策	約50件
計	約800件

- ・里地里山の保全活用に関心をもつ人々に幅広〈情報を発信、提供するため、文献・事例・手法の効果的な検索、閲覧が可能なデータベースを整備する。
- ・整備したデータベースは、既存のホームページ「里なび」に一体化する予定
- ・団体の登録を随時受け付けているのと同様に、事例についても必要な情報提供の内容を満たして 申し込めばデータベースに追加する体制をとることを検討

# 2-4.保全活用事例等の検索システムの整備



# 2-5.新たな利活用方策の検討

# 【背景】

- ・これまで、里地里山の新たな利活用の方策について、環境教育やエコツーリズムの場の提供、 間伐材やススキなどのバイオマス利用など具体的な取組を通じて検討
- ・今後は、自然資源の利活用を、地域活性化も期待した地域づくりとして展開する取組を支援

## 【検討内容】

特に地域に生息・生育する野生生物に着目し、地域資源として活用した地域づくりを推進するため、地域ブランド化等によって保全活用を進めようとする地域での試行的な取組を通じて検討する。

平成22年度には平成元年に選定した「ふるさといきものの里100選」(小動物生息環境保全地域119 箇所)のフォローアップ調査等により、試行的取組のための準備作業を行う



### 【目標】

野生生物資源の活用、生態系サービスの発揮が、地域社会の活性化・地域振興にも貢献

# 2-5. 多様な主体の参加促進方策の検討

## 【背景】

- ・農林業者や地域コミュニティだけでなく都市住民、企業など幅広い主体の参加を促しつつ、 国民的運動につなげていくことが求められている。
- ・都市住民や企業など多様な主体が共有の資源(コモンズ)として管理し、持続的に利用する 枠組みを構築することが必要

## 【検討内容】

里地里山の自然資源や生態系サービスを都市住民や遠隔地住民が共有財産として認識し保全活動に参加する全国の事例を調査·分析し、新たな共同利用のあり方を検討する。

·SATOYAMAイニシアティブでも提唱する「新たなコモンズ」の考え方に立って、主として都道府県レベルで取り組む際に活用される指針となるものを作成



### 【目標】

都市と里地里山が一体となるなど多様な主体の関係者が連携し、共有の資源として保全管理を行う取り組みを全国に展開する。

# 2-7.地域の典型的里地里山の保全活用の推進

# 【背景】

- ・国土の約4割を占める里地里山の広がりを考慮すると、里地里山の保全活用には重点的な取組が必要。それぞれの地域において典型的な里地里山の保全活用が確保されている状態を目指す。
- ・このため、自然的・社会的要素を踏まえた地域単位を設定し、生物多様性や社会的条件などから典型的な里地里山を生態系ネットワークも考慮しながら設定する取組を推進することが効果的

## 【検討内容】

地方自治体などが、地域ごとの典型的な里地里山を把握しネットワーク形成を進める際に必要とされる考え方、手法を検討する。



# 【目標】

各地域が科学的理解に基づき典型的な里地里山保全活用を確保することにより、国土レベルでの里地里山の生物多様性保全を実現

### 事例紹介冊子(ガイドブック)における代表的な取組事例の検索イメージ

◆事例紹介冊子(ガイドブック)においては特徴的な事例について、冊子内に以下のような「検索シート」のページを挿入することにより、「課題」、「取組主体」、「地方区分」、「環境タイプ」の各検索軸から検索できるように工夫する。なお、各分類項目については、平成20年度の特徴的取組事例アンケートに従った。

#### ① 課題検索シート(事例目次)のイメージ

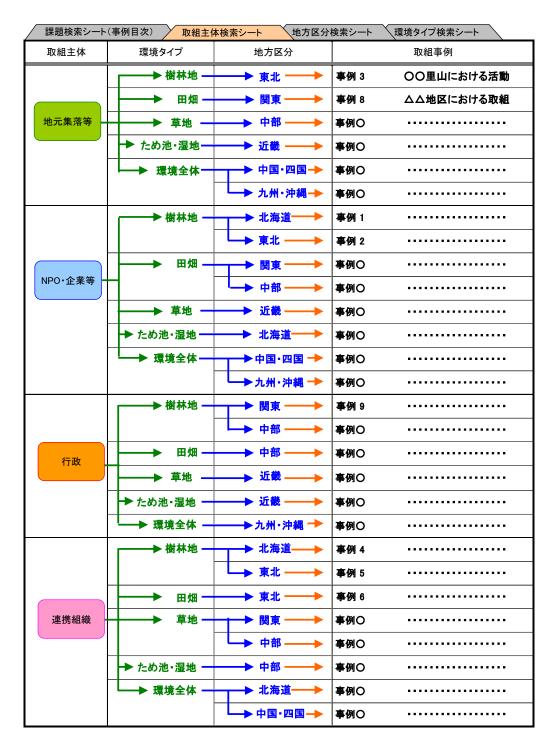
事例は「保全活用の課題」「検討の視点」「事例の特徴」ごとに分類し、冊子のページ順に並べているため、「課題検索シート」は全事例の目次を兼ねた検索シートとなる。

課題検索シート(	事例目次) 取組主体検索シート	地方区分検索シート	環境タイ	プ検索シ	<b>/−</b> ⊦		
保全活用の課題	検討の視点	事例の特徴	事例No.	ページ	取組主体	地方区分	環境タイプ
	(1)景観や生物多様性の保全等を 契機にした伝統的な農の営みの活 性化	低投入型(有機)農業	事例①	6	連携組織	北海道	水田畑
		生産量コントロール	事例②	7	地元集落等	東北	樹林地
			事例③	8	〇等 八全業	関東	樹林地 水田 畑
自然資源の持続的な	(2)里地里山イメージを活用した農林産品の高付加価値化による持続可能性の向上	産品の地域ブランド化	事例④	9	行政	中部	樹林地
		流通・販売ルートの開拓	事例⑤	10	NPO 企業等	近畿	樹林地
			事例⑥	11	NPO 企業等		ため池 湿地
	(3)間伐材やチップなどの活用による新たな資源価値の発掘(利用技術開発と市場開拓)	自然資源の新たな製品化	事例⑦	12	行政	九州	環境全体
		需要創出・製品市場の開拓	事例⑩	13	地元 集落等		樹林地
			事例⑪	14	地元集落等	北海道	水田畑
2. 野生動植物やそ	(4)生物多様性に富み、人々に豊	営農方法の転換	事例⑫	15	地元集落等	中部	樹林地 水田 畑
の生息地の保全・管		野生動植物生息調査	事例①	16	連携組織	九州	草地
理			事例⑭	17	地元集落等	東北	樹林地
3. 良好な景観の保	(5)里地里山の景観や生活文化 の再評価と地域資源としての活用	景観保全を意識した維持管理	事例⑮	18	NPO 企業等	関東	環境全体
全、伝統的生活文化		都市との交流	事例16	19	NPO 企業等	中国	環境 全体
の知恵や技術の継承			事例①	20	地元	九州	水田畑
	(6)里地里山の価値に対する地域 の認識の向上	自然観察•体験活動	事例18	21	行政	近畿	樹林地
		学校を通じた環境教育・学習	事例19	22	連携組織	東北	草地
4. 里地里山の価値 に対する社会的な認			事例20	23	連携組織	関東	ため池 湿地
	(7)環境学習等のプログラムの開発・運営	自然観察会・生きもの調査	事例〇	•	•		•
		農林漁業活動の運営	事例〇	•	•		
			事例〇	•	•	•	
	(8)フィールドを確保し、プログラム を運営する体制の整備	地元案内人等の確保	事例〇	•	•	•	
		運営コーディネーターの確保	事例〇	•	•	•	-
			事例〇	•	•	•	-
	(の) 地元住民による主体的取組を	地域を通じた協力体制づくり	事例〇	•	•	•	-
5. 里地里山の管理・ 利用への多様な主体 の参加促進		地元民間企業等との連携促進	事例〇	•	•	•	-
			事例〇	•	•	•	-
	(10)地元と外部の協力・連携による取組を促進する仕組みや体制づくり	地域外との協定等の仕組み	事例○	-	•	•	
		コーディネート組織の育成	事例〇		•	•	•
		•••••	事例〇		•	•	
	(11) 伝統的な用山管理手法の再	伝統的管理手法の継承	事例○		•	•	
6. 里地里山の管理・		後継者の育成	事例○		•		
			事例○		•	•	•
利用手法の再評価と 新たな手法の開発	(12)現代の里地里山に適用可能 な持続可能な資源管理手法の確 立	順応的管理手法の開発	事例○		•	•	•
		省力化等を通じた資源管理	事例○		•	•	
			事例〇				

#### ② 取組主体検索シートのイメージ

取組主体検索シートは「取組主体」から検索を開始したい人のための検索シートであり、検索の手順としては「取組主体」→「環境タイプ」→「地方区分」の順に検索することができる。

同様に、地方区分検索シートは「地方区分」→「取組主体」→「環境タイプ」の順に、保全対象地検索シートは「環境タイプ」→「地方区分」→「取組主体」の順に検索することができる。



◆1事例1/2 ページ程度で解説することとし、各事例の紹介ページの構成は以下のようなイメージを想定している。

#### 東北 事例 No.● △△地区における○○の取組 ■事例写真 ■基本情報 所在地 〇〇県〇〇市〇〇地域 実施体制 中心的主体 〇〇地域営農組合(低投入農業の実践) 連携主体等 · 〇〇市役所〇〇部〇〇課(農産物認証) NP0 法人△△の会(生物調査等) ・(株)□□(農産加工品製造) 保全活用の課題 ①農林業を軸にした自然資源の持続的な管理・利用の推進 検討の視点 ②里地里山イメージを活用した農林産品の高付加価値化によ る持続可能性の向上 事例の特徴 低投入(有機)農法 ■取組の概要 本地域では、〇〇地域営農組合を中心として、市役所、NPO、企業と連 携しつつ、希少鳥類である〇〇と共生する農業が展開されている。 〇〇地域営農組合は、NPO と共同で鳥類と共生する米の栽培基準を設定 し、これに則して栽培された米は、市役所から「〇〇を育むお米」とし て認証を受けることができ、通常の商品より○割程度高値で取引される。 (参考)類似事例 No. ● No. ● No. ● 行政 近畿 樹林地 事例 No.● □□地区における▲△の取組 ■基本情報 ■事例写真 〇〇県〇〇市〇〇地域 所在地 実施体制 中心的主体 連携主体等 . . . . . . . . . . . 保全活用の課題 ②野生動植物やその生息地の保全・管理 検討の視点 ④生物多様性に富み、人々に豊かと感じられる里地里山環境 の保全、創出 事例の特徴 . . . . . . . . . . . ■取組の概要 (参考)類似事例 No. ● No. ● No. ●